

女性・母親・会社員の視点から小平の“未来”を創造します！



竹井 よこ 通信

第6号（2015年11月発行）

竹井ようこ事務所
〒187-0041 小平市美園町1-1-15
TEL/FAX: 042-207-1232
E-mail: info@takeiyoko.com
公式HP: http://takeiyoko.com/

発行者 小平市議会議員 竹井ようこ 会派 フォーラム小平

無所属

5月に市議会議員としての第一歩を踏み出してから半年が過ぎました。忙しい日々を送っていますが、私の人生の中で最も充実しています。

新人議員として勉強の毎日ですが、この1年で出来るだけ多くのことを吸収して、さらに今後の活動に役立てていきます！



小平市議会Webで
12月定例会一般質問の動画配信中

<http://www.discussvision.net/kodairasi/2.html>

◆9月定例議会報告◆

一般質問において、以下4点を質問しました。

1. イクボスをふやして小平市からワーク・ライフ・バランスの推進を

【質問】

男女ともにワークライフバランスを推進していくということが、個人の幸せや福利厚生という枠組みのみならず、今後の少子高齢社会における経済の発展と活力になると考えます。

市長自らが「イクボス宣言」を行ない、ワークライフバランスを重視した働きやすい環境を市が率先して整えることが、市民の意識改革につながると考えます。

地方自治におけるまちづくりの取り組みには、市民協働の概念が不可欠です。

【回答】

特定事業主行動計画「ハッピーこだいら」の中でイクボス宣言に相当する内容が含まれている。

「ハッピーこだいら」では男性の育児休業の促進や女性職員の活躍推進などがしっかり盛り込まれています。

小平市の『発信力』をより一層高めていくためにも、「小平は特定事業主としてワークライフバランスに本気で取り組んでいる」というアピールを積極的に行なっていくことが必要です。

イクボス：従業員や部下の仕事とプライベートの両方を応援し、部下の育児や介護等の事情を斟酌した配慮とフォローができ、かつ自身のワークライフバランスも重要視する経営者や上司のこと。自治体においても大阪府堺市長を皮切りに、10を超える自治体で首長による「イクボス宣言」が行われている。

2. オープンデータを活用して小平市をより安全、便利、すてきな魅力ある町へ

【質問】

スマートフォンやタブレット端末等の普及に伴い、自治体に対しても、多様な情報を連携させて新たな価値を生み出していくことが期待されています。

小平市においても、保有する公共データを市民や企業が利用しやすい形で提供することが必要と考えます。

【回答】

オープンデータ化できるものには国勢調査や統計書のデータ、公共施設、防災関連の情報などがあり、国や東京都の動向、事業者へのヒアリング等を通じ情報収集・研究を重ねている。国分寺市が実施する広域連携促進事業とも連携し、広域行政データの集約化と利活用のあり方について検討する。

オープンデータについて小平市では、数年前から議会でも取り上げられており、取り組むべき課題であると認識はするものの、未だ「研究」の段階です。

公開できるものからスタートをして、市民のアイデアを巻き込んで具現化を進めていくことで、より実効性が高くなると考えます。これからも提案を続けていきます。

オープンデータ：著作権、特許などの制限なしに二次利用が可能な利用ルールで公開されたデータのこと。自治体の公開するオープンデータを活用した事例として、①地図データと犯罪発生データとの連携『ひたくり事件発生箇所データ』、②地図データと道路の照明塔のデータとの連携『明るい夜道マップ』などがある。

3. 仲町第2公園の東側出入口の閉鎖について

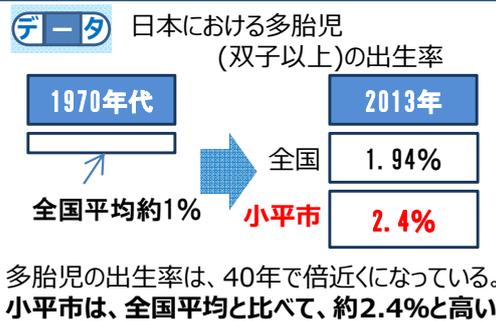
仲町第2公園の東側出入口の閉鎖については、今後も市が主体的に動き、開口に向けて働きかけていくよう要望し、確認しました。加えて、安全性を確保する観点から、近隣の青梅街道(歩道)の狭あい解消が必要であるとの質問を行ない、「引き続きさまざまな形で東京都に要望していく」ことについて確認しました。

4. 多胎児を育てやすいまちづくりについて

多胎児の出産については不安やリスクが伴うことから、妊婦への支援策や多胎児子育て支援策について確認しました。

現在、小平市には、家事・育児ヘルパーの派遣を多胎児の場合は1年(通常生後6か月)までとする「のびのび子育て応援事業」や、ふたごちゃんの会の開催などがありますが、他市には、ホームヘルパーの3歳までの派遣や、タクシー利用料の助成などの例もあり、引き続きの検討を要望しました。

(右記 **データ** 参照)



活動記

9~11月の主な活動(順不同)

【子育てナンバーワンのまちへ】

学童クラブ父母連意見交換会、「学校管理課における重大事故について」勉強会、学習支援ボランティア視察、映画「うまれる」、児童養護施設視察(清瀬市)、認証保育所事業についてセミナー、「働くことの意義」授業視察東久留米市、市内各小学校運動会、青少年音楽祭、母親大会

【ワークライフバランスが実現できるまちへ】

「女性議員の話を聞こう」座談会、男女平等参画推進協議会

【グローバル人材が育つまち、若者が活躍できるまちへ】

留学生からみた小平のまち(NPO法人小平市民活動ネットワーク)、小平市日本語発表会、国際交流フェスティバル、スポーツボランティア講演会

【高齢者、障がい者を孤独にしないまちへ】

高齢者福祉大会、障がい者団体連絡会勉強会、精神保健福祉を考える集い、障がい者福祉センターまつり、グループホーム視察、ケア音楽実践ドルツェの会

【ICTの活用で人と人をつなぐまちへ】

タブレット端末を活用した授業視察、RESAS勉強会(西東京市)、ICT取り組み視察(熊本市)

【にぎわいのあるまちづくり、環境、安心安全 その他】

環境フェスティバル、市内企業訪問、どけんまつり、えんとつフェスティバル、市民スポーツまつり、市民まつり、あかりまつり、NPOまつり、熟年いきいき会、総合防災訓練、交通安全教室、観光案内所視察(杉並区)、産業まつり、小川公民館まつり、プチ田舎会議、水環境と和の伝統文化講演、市議会傍聴団体との交流会、安保健講講演会、国会見学会、ふくしまキッズin小平、連合政策制度討論会 等

市民と議会の意見交換会の模様(11/7)



ICT政策を説明。生活の安心・便利を追求しながら、取り残される方を出さないことの重要性も訴える。

ご報告

一般会計決算
特別委員会(10月13~15日)
の副委員長を務めました。

トピックス

どうする? 公共施設

人口減少が問題となっています。

小平市ではまだ微増傾向にありますが、今後は減少傾向に転じ、**2060年には今より4万人の減**となる見込みです。

それに伴い、個人**市民税収入**も現在の半分以下の**55億3千万円**ほどになると推計されています。

しかしながら、数ある公共施設を現在と同規模で**建て替える場合**、2060年までにかかるコストは**総額1370億円**(年平均29億円以上)にのぼります。

今後、花小金井南中学校の体育館(地域開放型)に機能移転予定の「花小金井武道館」や、小川東町の「リサイクルセンター」を皮切りに、耐用年数が到来します。

また、**2026~2037年には**、各小中学校を中心に公共施設の**耐用年数到来がピーク**を迎えます。

統廃合、転用、共有...など、**様々な方策を考える必要**ある時期にあります。

プロフィール

小平市仲町在住

【略歴】

1966年 1月28日 滋賀県生まれ、名古屋育ち
名古屋市立菊里高校卒業
南山大学外国語学部英米科卒業
1988年 4月 日本電信電話(株)入社
国際部などで業務経験を積む
1991年 4月 (株)情報通信総合研究所出向
Didier & Associates法律事務所(ハルビ)派遣
欧州各国での情報通信政策について調査・分析
1994年 6月~98年 9月 出産・育児のため休業等
職場復帰後は育児に仕事に多忙な日々を過ごす
1999年 7月 NTTコミュニケーションズ(株)
情報通信の最前線で企画・法務等の業務に従事
2015年 4月 小平市議会議員選挙にて初当選

所属委員会等

総務常任委員会
広聴広報特別委員会
にぎわいまちづくり調査特別委員会
小平・村山・大和衛生組合議会(一部事務組合議会)
交通安全対策協議会(市長附属機関等委員)



編集後記

さまざまな会合や行事等にお邪魔すると、お声をかけていただくことが増えてきました。大変ありがたいことです。皆様のご意見を市政に反映するべく努力してまいります。是非お声をお聴かせください!



フェイスブックは
「竹井ようこ」で検索!

竹井ようこホームページ

<http://takeiyoko.com/>